

教育活動全体を通じてキャリア教育を推進しましょう

西部教育事務所管内では、キャリア教育で身に付けさせたい基礎的・汎用的能力を基に、自校の実態に沿って目指す児童生徒像を具体的に設定し、キャリア教育全体計画を作成する学校が増えています。各教科等の学習内容と身に付けさせたい力との関わりを明確にし、教育活動全体を通じてキャリア教育を推進しましょう。富岡市立北中学校区での取組を紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

富岡市立北中学校区（小野小学校）の取組

取組① 各教科と関連させた指導の工夫

各教科等においてキャリア教育を行うために、まず、「身に付けさせたい力」をどの教科のどの単元で重点的に培うのかを明らかにしました。さらに、教材や学習課題の工夫、ゲストティーチャーの活用等により、学習活動の中で効果的に能力や態度を育てるための留意点を年間指導計画にまとめておきました。

【身に付けさせたい力：人間関係形成・社会形成能力】
◎人や社会と積極的にかかわり、適応したり働きかけたりする力

重点的に指導する単元を設定

社会科 小4年『古い道具と昔の暮らし』
【単元の目標】

くらしにかかわる古い道具や当時のくらしの様子を調べ、地域の人々のくらしの変化が人々の願いや知恵によるものであることを理解し、地域に対する誇りと愛情をもつ。

効果的に能力や態度を育てるための留意点

調べる意欲や必要感を高める！

・ 学校にある古い道具や写真をもとに、使い方等について話し合わせ、調べる意欲や必要感を高めるようにする。

地域への愛着を深める！

・ ゲストティーチャーに道具にまつわる思い出話や苦労話について語ってもらい、生活の知恵や工夫、努力などに触れられるようにし、地域への愛着を深めるようにする。

取組② 自己の変容に気付けるようにする指導の工夫

児童生徒が、「なぜ学習するのか」「今の学習が将来どのように役立つのか」など、学習の意義を感じられるように、教科の目標と「身に付けさせたい力」を関連付け、児童生徒が自己の変容に気付けるようにしました。

キャリアシートへの記述例

各教科の指導の中で「身に付けさせたい力」から自分の姿を振り返る「児童生徒用キャリアシート」を活用しています。

導入時に記述した「学習後の姿」を基に、単元の最後にその姿に近づけたかを振り返ることで、自己の変容を感じながら学習を進めることができます。

単元の最初では、「人と話すことを苦手」と感じていた児童が、質問をしながら学習を進めることに楽しさを感じたことで、単元の最後では「人と話をするのが楽しくなった」と振り返り、自己の変容を感じることができました。



自分がイメージする
学習後の姿

話すのが苦手なので、人と進んで話せるようになりたい。

今日の振り返り

火ばちの思い出を質問したら、「おもちゃをやくのが楽しかった」という話が聞けてうれしかった。

学習後の自分の姿

地いきの人に質問したら、昔のくらしの楽しそうなことがいろいろわかった。人と話をするのが楽しくなった。

ゴールの自分の姿を
想像して記入

単元の途中で適宜、「身に付けさせたい力」に沿って振り返りを記入

「ゴールのイメージ」
に対してどこまで近づけたかを記入